令和7年度第1回大磯町地域公共交通会議 会議録

日 時 : 令和7年6月26日(木) 午前10時00分～11時00分
場 所 : 大磯町役場本庁舎4階第2委員会室
出席者 : 14名 [鈴木会長、橋山委員、小堤委員、秋山委員、井上委員、鳥澤委員、近藤委員、野田委員、菊田委員、黒川委員、二宮委員、伊澤委員、森下委員、廣野委員]
欠席者 : 1名 [八島委員]
傍聴人 : 2名
資 料 : 資料1-1 : 乗合タクシー令和6年度実績報告
資料1-2 : 生活交通確保維持改善計画(案)
資料2 : 富士見地区補助路線バス令和6年度実績報告

1 開 会

2 議 題

西小磯東区の一部地域における乗合タクシーについて
事務局から資料1-1、1-2について説明

○質疑(資料1-1、1-2について)

【委員】

資料1-2において、3.2.の目標を達成するために行う事業及びその実施主体について、チラシを配布するなど具体的な取り組みを検討する。とあるが、検討のみで実施は行わないのか。

【事務局】

チラシの配布を実施する。現在までに配布したチラシの要点を簡潔にまとめて、住民にわかりやすいチラシを作成し配布する。次回の会議で委員の皆様にお示ししたい。

【委員】

資料1-1のスライド4において、R7.3.31現在の登録者数が358人とのことだが、対象範囲の人口は。

【事務局】

乗合タクシーを利用できる範囲にお住まいの方は、概ね 1000 世帯で、一世帯あたり 2.3 人を乗じて 2,500 人程である。その内、交通不便地域に指定されている赤坂台地区においては、概ね 150 世帯であることから 350 人程である。

【委員】

乗合タクシーの予約方法及び対応する支払方法は、また、何分前までに予約すればよいのか。

【事務局】

予約方法については、電話のみの対応である。支払方法は、現金、各種キャッシュレス決済にも対応している。時間については、利用する 30 分前まで予約していただいている。

【委員】

平日運行とあるが、今後、土日祝日に運行させる予定は。

【事務局】

利用者からも土日祝日に利用したいとのご要望を受け、運行事業者とも協議をしている。予算計上を含め検討していきたい。

【委員】

町から話があり会社としても検討はしているが、平日運行に人員を確保する必要から土日祝日を乗務員の休日に充てるため、現状は難しい状況である。

【委員】

乗車時に、番号の地点からアルファベットの地点までタクシーを利用できるのはわかるが、帰りは利用できるのか。

【事務局】

帰りは、アルファベットの地点から番号の地点へ利用が可能である。

【議長】

議題については、資料 1-2 の「生活交通確保維持改善計画」に係り、(案) のとおり承認してよろしいか。

【一同】

了承。

3 報 告

富士見地区の補助路線バスについて
事務局から資料2について説明

○質疑（資料2について）

【委員】

昨年度、富士見地区に対し補助路線バスの撤退に伴う新規交通を検討しているという話があったが、その後の動きは。

【事務局】

AI デマンド型のタクシーを採用することを検討している。複数ある国庫補助のメニューの選定や契約方法について庁内で協議しており、次回12月の開催を予定する会議時では内容を説明したい。

【委員】

令和7年度中の運用開始と聞いていたが、その後の報告が途絶えてしまった。事業を進めるにあたり、段階を踏んで地区へ説明して欲しい。

【委員】

AI デマンド型タクシーの検討について、昨年度、地区へ説明があった際、是非推進してくださいと話をした。区長という立場で、地区の住民から話を聞かれた際に内容を答えられない。地区へ進捗を説明して欲しい。

【事務局】

令和7年度中の運行開始は、予算措置を含め難しい状況である。富士見地区の3区長には、令和7年3月にこの旨お話をさせていただいたが、地区の皆様には説明が不足していた。今後、地区にも進捗の説明をして意見を伺いたいと考えている。

【委員】

国府小学校へ通う子供たちがいる。利用しづらい公共交通機関では、保護者は自家用車で送迎することになってしまう。地区の意見を反映して、使い勝手の良いものにしていただきたい。

【委員】

AI デマンド型タクシーについて、通勤に利用した場合、通勤手当の対象となるのか。各企業によって違うとは思いますが、県内の事例を調査してもらいたい。

【事務局】

神奈川県やデマンドタクシーを取り入れている市町村へ照会してみる。

4 その他

【事務局】

次回の会議開催時期は、令和7年度12月を予定しており、改めて日程調整をさせていただきます。

5 閉会

以上